

消防本部職員直伝

知って納得 消防 Q & A

火災予防

Q 住宅用火災警報器はなぜ設置するようになったの？

A 平成23年6月から、住宅の寝室への設置が義務になりました。就寝中で火災に気付くのが遅れ、死傷者が多発したためです。豊岡市では、94%の住宅に設置されています(10月現在)。

就寝中にかかわらず、警報器を設置したことによって、早期に煙を感知し、火災に至らなかつた事例も多くあります。まだ、設置をされていない家庭では一刻も早く設置してください。



予防課危険物係
消防副士長 増田 竜馬

Q 火災の発生が多いのはいつなの？

A 4月から6月頃が多いです。田んぼや畑の準備で、雑草を燃やし、その火が燃え広がって火災になっています。

また、冬にも多く発生しています。洗濯物が乾きにくいので、ストーブの上に干して、洗濯物に燃え移ったり、ストーブの燃料を間違えて入れて火災になっています。これから寒くなるので気を付けましょう。



消防署予防係
消防司令補 谷垣 剛

Q 火災の原因はこんろやたき火以外に何が多いの？

A 全国で一番の原因は「放火(放火の疑い含む)」です。他には、たばこや電気配線などがあります。



消防署消防係
消防副士長 南條 健

電気配線の火災は、電気コードを束ねて使用したり、ほこりがたくさんある電気コンセントから出火しています。

火災予防のポイントは整理整頓です。住宅の周囲や家の中など、防げる火災は防ぎましょう。

救急医療で日本一安全なまち 豊岡

～ドクターヘリやドクターカーの出動要請をする豊岡消防署～

豊岡全体は医療過疎地です。救命救急センターは、この広い但馬に豊岡病院しかありません。但馬とほぼ同じ面積の東京都では20カ所以上あります。

平成22年、豊岡病院にドクターヘリとドクターカーが導入されました。医師と看護師がドクターヘリなどで迅速に現場に向かいます。救急車が出場して傷病者を乗せて豊岡病院に向かい、ドッキングした所で、最初の処置をする仕組みです。

病院収容時間の平均ー全国39.4分、兵庫県37.2分、豊岡は34.4分(平成26年実績)。豊岡のドクターカーは18.9分、ドクターヘリは23.1分(平成26年度実績)です。便利そうに見える東京都はというと、国内ワーストの54.6分です。

豊岡は救急医療に関していうと、実は日本で一番安全なまちといえます。

Q どんなときに救急車を呼んだらいいの？

A 突然の激しい頭痛や胸痛、手足が急に動かしにくくなった場合などは、ためらわず呼んでください。ただし、タクシー代わりなどで利用されると、本当に必要なときに救急車がいなくなります。救急車は正しく利用しましょう。

Q 119番通報をしてから救急車はどれくらいで来るの？

A 豊岡の平均は9.3分です(平成27年実績)。

Q ドクターヘリやドクターカーの呼び方は？

A 119番通報を受けたときに、けがの程度などから判断し、消防署から豊岡病院に要請します。



消防署指令センター
消防士長 岡本一平



消防署機械装備係
消防士長 富貫栄治

Q 消防署にはどんな消防車両があるの？

A ポンプ車、タンク車、救助工作車、はしご車などの消防車両は17台あり、救急車は7台あります。他にも、広報や物を運ぶための車もあります。
豊岡消防署にあるはしご車は35mで豊岡駅前の「アイティ」の屋上に届く高さです。城崎分署のはしご車は15mで建物の3階くらいまで届きます。

Q 119番通報したらどこにかかるの？

A 豊岡市内から119番通報すると豊岡消防署にある「指令センター」にかかります。指令センターでは、地図検索装置で、災害が発生した場所などを探します。携帯電話から通報した場合も同じです。場所が分からないと消防車などが向かうことができません。職員の質問には落ち着いて答えてください。



消防署指令センター
消防副士長 柿坂吉昭

Q 消防車はなぜ赤色で、どんな種類があるの？

A 法律では「赤色」ではなく「朱色」です。理由は定かではありませんが①初めて輸入した消防車が赤色 ②赤は注意を引く色 ③炎を連想させる色—などといわれています。種類は水を積んでいるタンク車、水をポンプで吸い上げるポンプ車などがあり、火災の大きさや場所によって消火方法が選択できます。



消防署救助係
消防士長 田中政明

Q 救急車のサイレンはなぜ『ピーポー』？

A 昔は救急車も消防車と同じサイレン音でした。しかし、心に優しい音を使おうということで「ピーポー」になりました。
救急車で病院に行けば早く診てもらえると思われませんが、病院で医師や看護師が患者の状態を診て決めますので、救急車が早いとは限りません。



消防署救急係
消防副士長 村崎 暢



消防署消防係
消防司令補 北村政明

意外に思うかもしれませんが、事務も多いです。届出書の受付や審査、出動後の報告書の作成、打合せ会議などもたくさんあります。
また、その他にも、いろいろなところに出掛けて、火災予防を呼び掛けたり、地理・水利の調査をしています。

Q 火事がないとき、消防署の人は何をしているの？

A 災害はいつ起こるか分かりません。いつ起きても素早く出動できるように、消防車や機械器具の点検、さらには災害に対応できるように、訓練や研修もしています。

また、さまざまな災害を想定して、各隊が連携したり、市内の消防団や市以外の消防本部、自衛隊、海上保安庁、警察などと連携した訓練もしています。

Q 消防署ではどんな訓練をしているの？

A 訓練は、消防隊、救助隊、救急隊にそれぞれあります。消防隊は、火災の消火を想定してホースを延ばしたり、放水する訓練、救助隊は、助けを求めている人を想定してロープや救助資機材を使い訓練をします。救急隊は、けがや命の危険がある人を想定して救急資器材の取扱い訓練をしています。



消防署救助係
消防司令補 畑中敦士